

実験概要

利用施設：地上洪水氾濫実験模型

実験条件：地上洪水氾濫実験模型上(図-1)に、実際の建物の浸水性を考慮して作成した建物模型を設置し、これに上流水槽から水を供給し、市街地領域を流下させた。供給流量を 1.0 l/s (case 1), 2.0 l/s (case 2), 2.8l/s (case 3)と変えて 3 ケース実施した。図-2 に示す位置で超音波水位計を利用して水位を測定した。

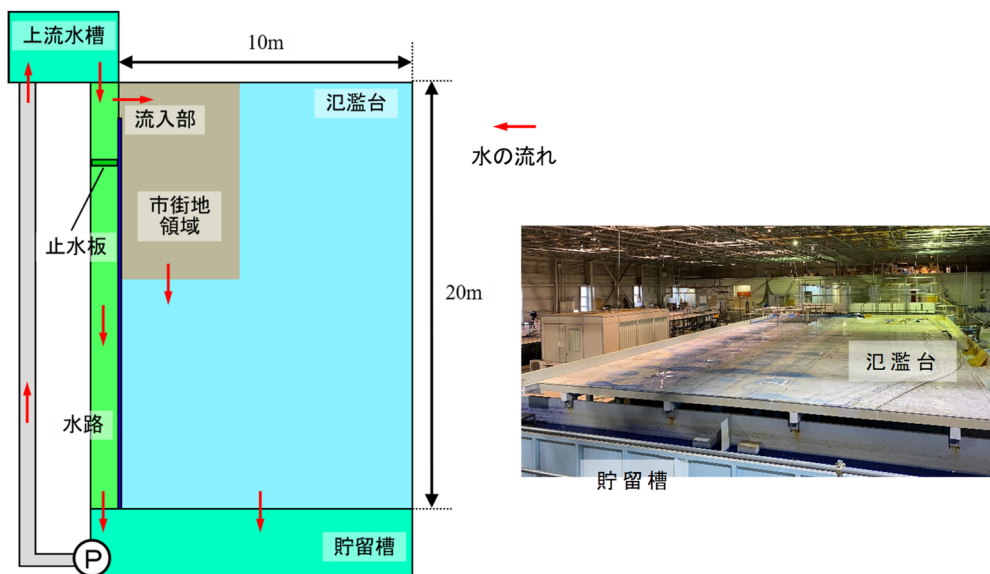


図 1. 装置の概要 ¹⁾

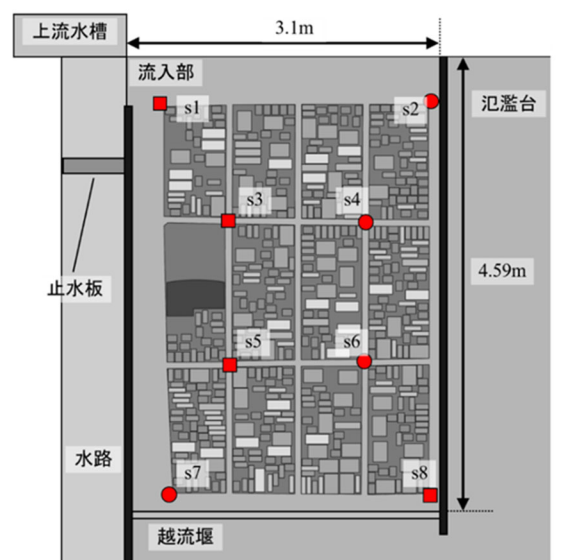


図-2 建物の配置と水位の計測位置 ¹⁾

参考文献：1) 藤森健人, 建物浸水を考慮した洪水氾濫解析モデルの実験的検証—実都市の建物配置を適用して—, 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻修士論文, 2022